



後期がスタート！じっくり学び、成長する秋に！

3年の後期がスタートしました。高校生活も終盤となり、受験に向けてもギアチェンジする時期となりました。4月に新年度が始まり、あっという間に半年が過ぎていったように感じます。当然のことながら、皆さんはあと半年後にはこの西高を卒業し、それぞれの進路に進んでいくわけです。私たちも皆さんと過ごす一日一日を大切にしていきたいと思います。

皆さんが、これから受験を通して直面する課題が「選択すること」「決断すること」でしょう。まず、自分の将来像を描き、それを実現させるために進学するわけですが、受験する大学、受験方式、受験科目…あらゆることで「選択」や「決断」が求められます。

数ある選択肢の中から一つのもを選び、決める。これからの人生の中で、何度も「選択」や「決断」をする場面が訪れます。自信を持って選択したが、結果的に失敗だったということもあり、逆に不本意な選択だったが、結果的にはベストだったということもあります。100%正しい決断もなく、100%間違えた決断ありません。大切なことは、自分が決めたことに対して「覚悟して臨む」ことだと思います。後々に、自分自身の「選択」や「決断」が正しかったと言えるように、今できることを最大限に取り組むことが重要だと思います。このような経験を積み重ねながら、人は成長するのではないのでしょうか。

この秋は、連続して模擬試験があります。そのたびに一喜一憂し、不安も大きくなるでしょう。だからこそ、慌てたり焦ったりしすぎることなく、落ち着いて学ぶことが大切だと思います。じっくり学び、共に成長する秋になることを、心から願っています。

芸術の秋、スポーツの秋…

秋という季節は、あらゆることを深められる季節です。受験勉強の合間に、移り変わる季節を感じながら、時にはリフレッシュも必要ではないでしょうか。

まずは芸術の秋。芸術鑑賞会は三年ごとに「演劇」「伝統芸能」「音楽」の内容で実施されますが、今年は音楽の中でも珍しいJazzに親しみました。本高の先輩である近藤和彦様率いる「近藤和彦スペシャル6tet」の皆様が、魅力的なJazzの世界を堪能させていただきました。私自身も、普段はクラシックを中心に音楽を聴いていますので、新たな発見がたくさんあった鑑賞会でした。西高の校歌のJazzバージョンも、印象に残るものだったと思います。



そして、スポーツの秋。今月は、球技大会や健康の森ウォーキング大会が実施されます。皆さんにとって、学校行事も残り少なくなってきましたが、仲間とともに体を動かしたり、汗を流したりする機会は、とても貴重なものだと思います。怪我だけには注意し、スポーツの秋を存分に楽しんでほしいと思います。



保護者のみなさまへ

いよいよ9月26日からセンター試験の出願が始まりました。例年通り、10月初旬の大安吉日を選んで、学校一括で出願いたします。前述したように、10月～11月は受験生にとって、最もつらい時期となります。夏休み以降の模試では、浪人生や首都圏の中高一貫校の生徒、さらにトップクラスの難関校の生徒が模試に参加してきますので、偏差値は以前よりも厳しいものになる傾向にあります。こうした状況の中で、生徒たちは自分自身を高め、全国のライバル達に負けない力を身につけるために、日々努力をしています。このことを御理解のうえ、お子様の話に耳を傾けると共に、是非励ましてあげていただきたいと思います。お子様にとって、身近にいる家族の励ましは、何よりうれしいものです。我々、職員もお子様のニーズに応えられるよう、温かく丁寧に指導していきたいと思います。そして、保護者の皆様も心配なことがございましたら、いつでも相談していただければと思います。引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

10月行事予定～焦らず、慌てず、じっくり学ぼう～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	月	行	きずなの日 自転車ステッカー点検実施週間 後期A週の授業	16	火	A	献血
2	火	A	後期始業式 短縮55分授業	17	水	A	
3	水	A	球技大会	18	木	A	
4	木	A	健康の森ウォーキング大会事前健康相談	19	金	A	報告会・生徒総会 短縮45分授業
5	金	A	健康の森ウォーキング大会事前指導(LHR放送) ベネッセ・駿台共催記述模試	20	土		
6	土		ベネッセ・駿台共催記述模試	21	日		
7	日			22	月	B	
8	月		体育の日	23	火	B	大掃除 短縮50分授業
9	火	B	生徒協議会	24	水	B	
10	水	B	第22回健康の森ウォーキング大会(雨天時はB週の授業)	25	木	B	
11	木	B	第22回健康の森ウォーキング大会予備日	26	金	B	
12	金	B	第2回生活実態調査	27	土		
13	土		土曜講座	28	日		
14	日		全統記述模試(外部)	29	月	A	
15	月	A	きずなの日	30	火	A	
				31	水	A	

◎今回は、3組副担任の風間富美子先生の寄稿を掲載します。

「Go Back to Basics」

何年か前、長男の中学校入学と次男の小学校入学が同じ年に当たり、自分の教員としての高校入学式と合わせて3つの入学式に出席した年がありました。床に届かない足をぶらぶらさせキョロキョロ周りを見回している小学生から、幼い顔立ちに少々大きめの制服を着てきりっとしてみえる高校生まで、各年代の入学生たちを見ることができた得がたい経験でした。入学式と言えば祝辞ですが、世代ごとにどんな話がされるのだろう、と思って聞いていて気づいたことがあります。それは、『結局話されている内容は同じだ』ということでした。小学校では、『早寝早起きをしましょう』とか『お友達と仲良くしましょう』なのが、高校では『規則正しい生活を、(3点固定、という表現もありますね)』とか『周囲と良好な人間関係を築きましょう』のように表現は違ってもその本質は同じで、どんなに成長しても大切なことは変わらないんだな、と思ったのです。



皆さんもこれから本格的な受験期に入っていきます。難しい問題にチャレンジしてわからなくて不安を覚えたり、頑張っているのになかなか成績が伸びないと焦燥感にかられたりする時期があるかもしれません。そんな時こそ、『基本に戻ろう』です。小さい頃から言われてきた当たり前のことを見直そう、です。基本に戻るのには、成長が後退しているからではありません。大きく飛躍するためにはまず足下の土台を固めることが必要だからです。

そのために、



規則正しい生活をこころがけ、(朝型人間になれないまでも、起床時間は決めよう)
 しっかり食べて、(脳も喜ぶ)
 休むときは休んで、(オンとオフを切り換えてリラックス)
 何か困ったことがあったら周囲の人に相談して(ぐちを聞いてもらうだけでもいい)

この時期を乗り越えましょう。